

高校生ICT Conference in 東京
言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！
～ 高校生のボクたちだから ～

「大人が作った子どものルール&マナーを考える」
アンケート集計

熟議参加人数

熟議参加生徒 18人
見学者 59人（教員・教育関係者・その他）
合計：77人

アンケート回収数

熟議参加生徒 18人
教員 10人
保護者 0人
大学生 1人
会社員 7人
その他 12人
合計：48人（回収率 62.3%）

全員

1. 本日、どのようなお立場で参加されたか、当てはまるものに○をつけてください。

1	教職員	10
2	保護者	0
3	学校・地域ボランティア	2
4	高校生	18
5	大学生(学部:	1
6	研究者(研究分野:	1
7	会社員	7
8	その他(9
	回答なし	0
	合計	48

2. 本日はICT Conference(熟議)に参加しましたか?

1	参加した	19
2	ファシリテーターとして	2
3	サポート役として	1
4	書記として	1
5	見学	25
	回答なし	0
	合計	48

3. 本日のICT Conference(熟議)の満足度をお知らせください

1	とても満足	26
2	まあ満足	19
3	どちらともいえない	2
4	やや不満足	1
5	とても不満足	0
	回答なし	0
	合計	48

4. 本日のICT Conference(熟議)の参加者で、「とても参考になった」「ためになった」発言・コメントはありましたか?

1	たくさんあった	27
2	ややあった	20
3	あまりなかった	1
4	まったくなかった	0
	回答なし	0
	合計	48

5. 本日のICT Conference(熟議)で、どのようなことに気づきましたか?ご自由にご記入ください。

いつも自分が考えていたことは偏見が入っていたという事
現在のスマホ・ネットのルールは情報の偏った大人の意見にうよるものが多いとわかった。
学校によってルールが違う。
人が集まることによって、自分の気づかなかった多くの意見が聞けた。
普段関われない県外の高校生と一緒に話し合うことで、新たな考え(インターネットに対する)に気づくことができました。
子供が大人によって決められたことについて、どう思っているのか、不満となっているかについて知ることができた。
大人もまだまだSNSやスマートフォンに対する知識が少なく、偏見が多いと感じた。
高校生同士で息があったり、視点があたりする。同じ意見もあるし、全然違う。
私たちが大人が作ったルールについて話せ、変えることが少しでもできるかもしれないと感じた。
ネット等に興味を持ち、これに参加しようとした生徒が意外と多かった。
単に一つの問題でも、様々なアプローチの方法がある事に改めて確認させられた
大人と子供の価値観の違い
・大人たちが作るルールでは、納得できない子が大量にいるということ。・短時間でグループで意見をまとめて発表まで行うという大変さ。

全員

関東だけでもめっちゃ面白い人がいるなと思った。
高校生ならではの意見が集まると、とても面白い意見になる。
普段だったら関わり合いのない高校生が集まり、熱く議論をし、自分では思いつかないような意見がたくさん出た。
その場で自分の意見をまとめて、論理立てて話す事の難しさを実感しました。
様々な視点から様々な意見が聞けてとても良かった。
一部の生徒は日頃の生活の中から考える事を見つけ出し、自分の意見にしていると思いました。
大人（一般的なライトユーザーの）も交えた同じ土俵で話をすると、多面的視点も加わり、より深いものになるのではないかと生徒の思考に「ゆさぶり」をかけないと、より質の高い「熟考」が生まれないのが残念である。
最後のプレゼンがどのグループも同じように思えた。
色んな事を話し合った割には最後のまとめが「表面的な」気がしました。
生徒がグループのメンバーの特性を理解し、主体的に学んでいた。異文化の人が集まることで視野が広がっていた。
これだけ長く議論できる時間が持てるのは良い経験だと思った。
今回は割と真面目な子達（ルールをきちんと守る子達）が中心となって話し合っていました。が、不真面目な子達（ルールを守らない子）を混ぜたらもっと深みを増した熟議ができそうと感じた。
大人にとって耳の痛い意見はきちんと受け止めないといけないと感じました。
子供から提案するルール作りということで、とてもいいテーマ設定でした。
大人と子供が話し合う時間が少ない。互いが互いを理解していないことが一番欠陥していることだと思った。
学校や大人が決めるスマホ利用等のルールに納得がいかない。高校生の生の意見を聞くことができ参考になった。
メリットを感じない・納得できない。大人が作ったルールは子供たちに伝わらない。
高校生たちがしっかりとした考え・意見をいもっていて大変素晴らしいと思った。PPでの発表も1時間に満たない時間でよく作り上げたと思います。
短時間の内に発表までよくまとめたと思います。
単なる情報モラル教育の超えた対話型の合意形成の訓練だと思いました。
高校生も我々と同じような認識を持っていると感じている。
インターネットとSNS、テーマを分けた方がいいかも
子供たちの方が大人よりもSNSを理解しているので偏った見方をしたルールを押し付けるのはおかしいと不満を持っているということ
・なぜ誹謗中傷をしてしまうのかの理由として「話を聞いてくれる人がいない」という言葉がありましたが、考えさせられました。・高校生自身が話し合う事はネット問題を理解する上で大いに役立つと思います。・大人の教育も必要
高校生の発表の時間をもっと多くしてほしい。会場からの質疑応答（高校生に対する）があっても良いかも。

6. 本日の「ICT Conference（熟議）」の経験を、今後の活動で活かしたいと思われますか？

1	積極的に活かしたい	34
2	機会があれば	13
3	どちらともいえない	1
4	あまり思わない	0
5	どう活用すれば良いかわからない	0
	回答なし	0
	合計	48

7. 本日のICT Conference（熟議）を受けて、今後どのようなことをやってみたいと思いましたか？

学校内の校則やルールを考え直す
今できることとして、学校の校則をもっと生徒主体で変えたい。
他校の人と積極的に色んな課題について話したい。
同じ人でもう一度集って、その後どのように学校で活動したか知りたかった。
様々な人と話し合う機会を増やしたいと思いました。
SNSの使い方を色々な人に知ってもらいたい。そのために講演をしてみたい。
新しいソーシャルメディアガイドラインの作成と発展

全員

何をするよりもまず、大人の意見をもっと深め、ディスカッションしたい。
自分も大人もきちんと理解できるように伝えていかなくてはいけないと思った。
学校、寮のルール改善
今後生徒会として、SNS問題を前面に推して活動していきたいと思います。
大人と話す。
色々な学校と交流したいです。
身近なもの一つ一つにもっと興味を持とうと思った。
SMGを進化させていきたい
もっと自分意見を持ち、積極的に発言していきたい
学校でも限られた時間の中でグループに分かれて議論するような活動があったら面白いと思いました。
インターネットとは別の議論で学校で話す。
一見が一方の立場に偏ってしまうので、実際のルールが作られた経緯等も参考として見せてあげたいと思いました。
自分の地域（東北）でも実施できればと思う。
実際に活用するために行動してもらいたい
・「話す」だけでなく、「体験」をさせた方が良いかもしれないと思いました。
情報モラルについて、生徒と共に学び新しいルール作りを試みる。
学校でどのような情報モラルを高めるか、色々考え企画・実行してみたい
自県での開催等
自分が「大人」になった時に、しっかり子供たちの意見を聞く、という事を覚えておきま
自分たちも長時間かけた議論がしたい
議題を変える等をして、授業やホームルームに取り入れていきたい。
他の教員や生徒などに話をする際の取り組み例として紹介したい。
このICTカンファレンスの仕組みを研修等でもやってみたい
ネット利用のマナー等に関する啓発活動等を考えるにあたり、どのような形であれば子供側も頷けるような内容となるかを重視して考えていきたい
出前講座で活用したい
生徒の作るルールをテーマにしたワーク等
引き続きこういったイベントに参加したいと思いました。
自分たちの県の高校生を集めて、今回と同様またはそれに近い取り組みをやってみても面白いと思った。
生徒の考えを踏まえた対応を検討したい。
高校生をはじめとする青少年が独自のルールを作れるようにする仕組みづくり。また一層の普及啓発
子供たちに講義する時になるべく意見を聞きながら進める
学校での講座に活用したい
親子一緒に参加できるディスカッションイベント。教員VS生徒のイベント

8. 本日のICT Conference（熟議）で伝えきれなかったことや、あなたの行われている活動やお考えがあればお書きください。

まちづくりを行っているので、ルールやマナーの視点から地域の活性化をしたい。
もう少しまとめる時間が欲しいと思った。
ソーシャルメディアガイドラインを作成している。
“宮つく”という宇都宮まちづくりプロジェクト。高校生自身がイベントを行っているので、そこでも活動したい。
常識的な範囲の自己責任は高校生でも取れる
大変だけど楽しかったです。
頭の良い人たちが作ったルールに服従している現在だが、今後はルールを作る側になりたいと思った。
今後の生徒会活動に活かしていきたい
・経済的にスマホを持ってない高校生やいわゆる弱者に対する視点が欲しい。・「人を幸せにするICT」…大人がなかなか「好ましい使い方」を提示できない現状だが、ワールドワイドに大人も子供も双方にイメージの偏見（ステレオタイプ）があるように思います。
全学校の授業で必須として取り上げてほしい
初めて会う生徒同士で意見を出し合うには今回くらいの時間が必要なのかと感じた。

全員

9. 「熟議」という取り組み自体について、あなたはどのようにお考えですか

1	非常に良い取り組みで今後も積極的に参加したい	35
2	良い取り組みだが、テーマによっては参加することもある	13
3	あまり良い取り組みとは思えない	0
4	良くない取り組みでありやめるべきだと思う	0
	回答なし	0
	合計	48

10. 今回のテーマについて、それぞれ当てはまるものに○をお付けください。(○はひとつだけ)

10-1. 興味・関心はありましたか？

1	そう思う	36
2	まあそう思う	11
3	あまりそう思わない	1
4	まったくそう思わない	0
	回答なし	0
	合計	48

10-2. 内容をよく知っていましたか？

1	そう思う	9
2	まあそう思う	27
3	あまりそう思わない	12
4	まったくそう思わない	0
	回答なし	0
	合計	48

10-3. ご自身のご意見はお持ちでしたか？

1	そう思う	21
2	まあそう思う	21
3	あまりそう思わない	4
4	まったくそう思わない	1
	回答なし	1
	合計	48

10-4. 興味・関心は高まりましたか？

1	そう思う	40
2	まあそう思う	8
3	あまりそう思わない	0
4	まったくそう思わない	0
	回答なし	0
	合計	48

10-5. 内容の理解は深まりましたか？

1	そう思う	34
2	まあそう思う	13
3	あまりそう思わない	1
4	まったくそう思わない	0
	回答なし	0
	合計	48

10-6. ご自身のご意見は変わりましたか？

1	そう思う	20
2	まあそう思う	15
3	あまりそう思わない	10
4	まったくそう思わない	2
	回答なし	1
	合計	48

高校生のみ

2. 本日はICT Conference（熟議）に参加しましたか？

1	参加した	18
2	ファシリテーターとして	0
3	サポート役として	0
4	書記として	0
5	見学	0
	回答なし	0
	合計	18

3. 本日のICT Conference（熟議）の満足度をお知らせください

1	とても満足	14
2	まあ満足	3
3	どちらともいえない	1
4	やや不満足	0
5	とても不満足	0
	回答なし	0
	合計	18

4. 本日のICT Conference（熟議）の参加者で、「とても参考になった」「ためになった」発言・コメントはありましたか？

1	たくさんあった	17
2	ややあった	1
3	あまりなかった	0
4	まったくなかった	0
	回答なし	0
	合計	18

5. 本日のICT Conference（熟議）で、どのようなことに気づきましたか？ご自由にご記入ください。

いつも自分が考えていたことは偏見が入っていたという事
現在のスマホ・ネットのルールは情報の偏った大人の意見にうよるものが多いとわかった。
学校によってルールが違う。
人が集まることによって、自分の気づかなかった多くの意見が聞けた。
普段関われない県外の高校生と一緒に話し合うことで、新たな考え（インターネットに対する）に気づくことができました。
子供が大人によって決められたことについて、どう思っているのか、不満となっているかについて知ることができた。
大人もまだまだSNSやスマートフォンに対する知識が少なく、偏見が多いと感じた。
高校生同士で息があったり、視点があったりする。同じ意見もあるし、全然違う。
私たちが大人が作ったルールについて話せ、変えることが少しでもできるかもしれないと気づいた。
ネット等に興味を持ち、これに参加しようとした生徒が意外と多かった。
単に一つの問題でも、様々なアプローチの方法がある事に改めて確認させられた
大人と子供の価値観の違い
・大人たちが作るルールでは、納得できない子が大勢いるということ。・短時間でグループで意見をまとめて発表まで行うという大変さ。
関東だけでもめっちゃ面白い人がいるなど思った。
高校生ならではの意見が集まると、とても面白い意見になる。
普段だったら関わり合いのない高校生が集まり、熱く議論をし、自分では思いつかないような意見がたくさん出た。
その場で自分の意見をまとめて、論理立てて話す事の難しさを実感しました。
様々な視点から様々な意見が聞けてとても良かった。

高校生のみ

6. 本日の「ICT Conference（熟議）」の経験を、今後の活動で活かしたいと思われませんか？

1	積極的に活かしたい	13
2	機会があれば	5
3	どちらともいえない	0
4	あまり思わない	0
5	どう活用すれば良いか分からない	0
	回答なし	0
	合計	18

7. 本日のICT Conference（熟議）を受けて、今後どのようなことをやってみたいと思いましたか？

学校内の校則やルールを考え直す
今できることとして、学校の校則をもっと生徒主体で変えたい。
他校の人と積極的に色んな課題について話したい。
同じ人でもう一度集って、その後どのように学校で活動したか知りたいと思った。
様々な人と話し合う機会を増やしたいと思いました。
SNSの使い方を色んな人に知ってもらいたい。そのために講演をしてみたい。
新しいソーシャルメディアガイドラインの作成と発展
何をやるよりもまず、大人の意見をもっと深め、ディスカッションしたい。
自分も大人もきちんと理解できるように伝えていかななくてはいけないと思った。
学校、寮のルール改善
今後生徒会として、SNS問題を前面に推して活動していきたいと思います。
大人と話す。
色々な学校と交流したいです。
身近なもの一つ一つにもっと興味を持とうと思った。
SMGを進化させていきたい
もっと自分意見を持ち、積極的に発言していきたい
学校でも限られた時間の中でグループに分かれて議論するような活動があったら面白いと思いました。
インターネットとは別の議論で学校で話す。

8. 本日のICT Conference（熟議）で伝えきれなかったことや、あなたの行われている活動やお考えがあればお書きください。

まちづくりを行っているので、ルールやマナーの視点から地域の活性化をしたい。
もう少しまとめる時間が欲しいと思った。
ソーシャルメディアガイドラインを作成している。
“宮つく”という宇都宮まちづくりプロジェクト。高校生自身がイベントを行っているので、そこでも活動したい。
常識的な範囲の自己責任は高校生でも取れる
大変だけど楽しかったです。
頭の良い人たちが作ったルールに服従している現在だが、今後はルールを作る側になりたいと思った。
今後の生徒会活動に活かしていきたい

高校生のみ

9. 「熟議」という取り組み自体について、あなたはどのようにお考えですか

1	非常に良い取り組みで今後も積極的に参加したい	15
2	良い取り組みだが、テーマによっては参加することもある	3
3	あまり良い取り組みとは思えない	0
4	良くない取り組みでありやめるべきだと思う	0
	回答なし	0
	合計	18

10. 今回のテーマについて、それぞれ当てはまるものに○をお付けください。(○はひとつだけ)

10-1.興味・関心はありましたか？

1	そう思う	11
2	まあそう思う	6
3	あまりそう思わない	1
4	まったくそう思わない	0
	回答なし	0
	合計	18

10-2.内容をよく知っていましたか？

1	そう思う	2
2	まあそう思う	8
3	あまりそう思わない	8
4	まったくそう思わない	0
	回答なし	0
	合計	18

10-3.ご自身のご意見はお持ちでしたか？

1	そう思う	7
2	まあそう思う	8
3	あまりそう思わない	3
4	まったくそう思わない	0
	回答なし	0
	合計	18

10-4.興味・関心は高まりましたか？

1	そう思う	18
2	まあそう思う	0
3	あまりそう思わない	0
4	まったくそう思わない	0
	回答なし	0
	合計	18

10-5.内容の理解は深まりましたか？

1	そう思う	16
2	まあそう思う	2
3	あまりそう思わない	0
4	まったくそう思わない	0
	回答なし	0
	合計	18

高校生のみ

10-6.ご自身のご意見は変わりましたか？

1	そう思う	11
2	まあそう思う	5
3	あまりそう思わない	1
4	まったくそう思わない	1
	回答なし	0
	合計	18